

評価結果報告書

特定非営利活動法人 福祉総合評価機構

訪問調査及び協議実施	2004年1月26日・29日	評価決定委員会開催	2004年2月20日
------------	----------------	-----------	------------

受審施設	名称	にいくら保育園 様		認可・認可外
	所在地	埼玉県和光市新倉一丁目36番2号		
	運営主体	社会福祉法人 朝霞地区福祉会 様		
	責任者	佐藤 範子 先生	役職	園長(施設長)
	職員数	35名(常勤保育士 10名・その他職員 25名)		
	定員	90名 / 訪問調査時在籍数 108名(0歳6名・1歳14名・2歳20名・3歳23名・4歳23名・5歳22名)		

評価機関	名称	特定非営利活動法人 福祉総合評価機構		
	所在地	東京都新宿区左門町3番地左門イレブンビル3階		
	評価決定委員	太田 孝昭	小笠原 文孝	桑戸 大雄
		迫田 圭子	清水 康之(議長)	四村 保志
		白河 健一		
	評価調査員	大江 恵子	小出 正治	渡部 史朗

御園について実施いたしました第三者評価業務につきまして、その評価結果を下記の通りまとめさせていただきましたので、ご検収下さいませ。

2004年3月5日

にいくら保育園 御中

特定非営利活動法人 福祉総合評価機構

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 1 理念・方針の明文化と整合性、自己評価
評価項目	- 1 - (1) 保育所の保育理念及び基本方針が明文化されている。(42)		
	【判断基準】 a) 保育理念及びその理念に基づいた保育サービス提供の基本方針がいずれも明文化されている。 b) 保育理念及び保育サービス提供の基本方針がいずれも明文化されている。 c) 保育理念及び保育サービス提供の基本方針のいずれかが明文化されている。 d) 保育理念と保育サービス提供の基本方針のいずれも明文化されていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「事業計画書(理事会資料)」「パンフレット」「事務所内掲示」「運営委員会資料(H15.9.16)」を確認。保育理念及び基本方針が明文化されていることを確認した。またその両者の整合性についても確認した。	

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 1 理念・方針の明文化と整合性、自己評価
評価項目	- 1 - (2) 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。(1)		
	【判断基準】 a) 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。 「 <u>保育所保育指針に適合している</u> 」と解釈する。 b) 保育計画は、保育の基本方針に基づき作成されているが、地域の実態や保護者の意向等は考慮されていない。 c) 保育計画が、保育の基本方針に基づいていない。 d) 保育計画が作成されていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	d	「年間指導計画」「月間指導計画」を確認。また保護者の意向を調査した「保育園利用調査(市実施)」「クラス懇談会議録」「個別面談記録」により、地域の実態や保護者の意向について把握する取り組みが行なわれていた。しかし「保育計画」については作成されておらず、それに替わる計画書等も作成されていなかった。(指摘事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (2) 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	d	指摘	「年間指導計画」「月間指導計画」は策定されており、共に保育所保育指針に基づいて策定し、平成13年から委託を受けたため、第三保育所の保育内容なども考慮しながら、徐々に独自色やアンケートの結果の反映をして計画策定しているとの説明がありました。しかし、「保育計画」が作成されていませんでした。「保育計画」は「保育所保育指針」をガイドラインとし、各年齢段階相互間における発達の特徴を縦割りで系列的に押さえた上で、子どもの発達していく成長を、経験内容も含めた能力・活動要素的な視点、あるいは「ねらい」的な視点からまとめ、成長発達の各段階に脈絡をもたせながら作成するもので、年度ごとに個々のクラスが作成する指導計画の基本となるものです。要約しますと、子どもの発達段階に即してどのような内容を経験させていけばよいのか、その過程を体系化することです。「保育所保育指針」の読み合わせや「保育計画」の策定に関する研究会等を設けて、早急に「保育計画」を作成して下さい。(参考資料:「保育所保育指針の解説」(日本保育協会編)「あなたの園の自己点検」(全国社会福祉協議会))

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 1 - (2) 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	指摘事項 すでに作成されている年間指導計画や月間指導計画などを保育所保育指針の読み合わせを行いながら、園長・係長を含めクラス担任保育士が平成16年度からの保育に向けて検討・作成中。 平成16年度に向けて作成されたものを実施しながら、今後さらに未熟な点について勉強会などを設け、改善の努力を続けます。					

**完了予定日
(または完了日)**

16年 3月31日

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 1 理念・方針の明文化と整合性、自己評価
評価項目	- 1 - (3) 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。(2)		
	【判断基準】 a) 定期的に指導計画の評価を行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。 b) - c) 定期的に指導計画の評価を行っているが、その結果が指導計画に反映されていない。 d) 定期的な指導計画の評価を行っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	C	「年間指導計画」「月間指導計画」「児童票（K・M児、O・H児、M・S児）」「クラス会議録」「保育日誌」「幼児ブロック会議録」「乳児ブロック会議録」「保育士会議録」「職員会議録」を確認。ヒアリングにて計画策定時の手法について説明を受けた。しかし、定期的な指導計画の評価とその評価結果の反映については確認できなかった。（指摘事項参照）	
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (3) 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	C	指摘	「月間指導計画」の連続性（次月計画が園児の現状に鑑みて策定）は確認できたものの、「月間指導計画」の評価（測定）についてはその記録や議事録は確認できませんでした。「月間指導計画」はその月ごとに計画の達成状況や進捗状況を、一人ひとりの子どもについて評価（測定）し、その一人ひとりの評価（測定）結果に基づいて次月計画策定を行うように、保育所保育指針の第1章第2項(1)(2)および第11章第12項に定められています。またその評価（測定）を反映した次月計画策定に基づき、「年間指導計画」の改定を行うものとされています。保育所保育指針に定められた計画（plan） 実行（do） 評価（測定）（check） 改善（act）（PDCAサイクル）の流れにのっとり指導計画の改定を行って下さい。その際、どのようなことに配慮（個別配慮や全体配慮）して保育を実施していくのかを、指導計画書内に記載されるようにして下さい。

【施設記入】改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 1 - (3) 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	<p>指摘事項</p> <p>クラス担任間（クラス会議）での定期的な評価とその評価結果を次にどう引き続いていくかを行い全体の保育士間（定例保育士会議）で確認できるように、またPDCAサイクルを活用し、個別配慮・全体配慮が出来るように記録書式、会議内容の変更を検討。</p> <p>書式は年齢の発達を基に、個別や全体の配慮が記載でき、次の保育により生かしていけるものになる様、今後も改善・検討を続けます。</p>					

**完了予定日
(または完了日)**

16年 3月31日

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 1 理念・方針の明文化と整合性、自己評価
評価項目	- 1 - (4) 保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。(45)		
	【判断基準】 a) 保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。 b) - c) 保育の内容について、定期的に自己評価を行っているが、職員参加が図られていない。 d) 保育の内容について、定期的に自己評価を行っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	b	「年間指導計画」「月間指導計画」「児童票(K・M児、0・H児、M・S児)」「クラス会議録」「保育日誌」「幼児ブロック会議録」「乳児ブロック会議録」「保育士会議録」「職員会議録」を確認。「保育士会議録」は正規職員、全保育士とに分かれており、保育内容について討議が行われていた。また「職員会議録」でも保育の内容についての議論が記録されており、ブロック別会議でも8月22日に縦割り保育について、9月24日に幼児集会についてなどの討議録が確認された。しかし、自己評価という視点での議論やその計画への反映は確認されなかった。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (4) 保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	b	推奨	定期的な職員会およびミーティングや研修会において、必要に応じて保育の内容の議論はされていますが、その記録が自己評価という視点での記録ではありませんでした。またその議論がどのように計画に反映されたかという点で、反映された記録が確認できませんでした。会議やミーティングで、保育の内容と子どもの育ちとの関係について有効性や計画の進捗度などについて自己評価(測定)し、その議論や課題抽出までの過程、更にどのような対策や取り組みを行うように結論が出たのかといったことを記録して、それを計画の改定や次月の計画策定に反映していくことをおすすめします。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 1 - (4) 保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	推奨事項 1 - 1 - (3)と同様に会議内容の見直しと、書式の改善を行い、話し合いを記録に留め次月の計画に今まで以上に反映する様、今後も努力いたします。					

完了予定日 (または完了日)	16年4月より継続
---------------------------	-----------

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 1 理念・方針の明文化と整合性、自己評価
評価項目	- 1 - (5) 保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加により行っている。(44)		
	【判断基準】 a) 定例会議を含め、年間を通じて職員から提案を募集するか、又は定期的に（年に複数回）意見を聞くための場を設け、保育の質の向上や改善のための取り組みを行っており、結果が次回の計画に反映されている。 b) 定例会議を含め、年間を通じて職員から提案を募集するか、又は定期的に（年に複数回）意見を聞くための場を設け、保育の質の向上や改善のための取り組みを行っている。 c) 定例会議を含め、年間を通じて職員から意見を募集するか、又は定期的に（年に複数回）意見を聞くための場を設けているが、それを踏まえて、保育の質の向上や改善のための取り組みを行っていない。 d) 定例会議を含め、保育の質の向上や改善に関し、職員からの意見を聞いていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	b	「年間指導計画」「月間指導計画」「児童票」「クラス会議録」「保育日誌」「幼児ブロック会議録」「乳児ブロック会議録」「保育士会議録」「職員会議録」「クラス懇談会議録」「個別面談記録」「研修実施計画(資料)」を確認。ヒアリングにて、懇談会や面談の内容について職員会議や保育士会議で議題にし、各種研修への参加を確認した。園庭環境設定についての具体的な事例はあったが、それ以外についての具体的な取り組みの確認ができなかった。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (5) 保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加により行っている。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	b	推奨	「クラス会議録」「各ブロック会議録」「保育士会議録」「職員会議録」に保育についての議論が記録されており、「クラス懇談会議録」「個別面談記録」「研修実施計画」など現状に満足せずに改善しようとする意向が確認されました。園庭の環境改善については研修参加から講師のアドバイスに基づいた具体的な取り組みが確認できましたが、その他の保育内容については、具体的な取り組みについて明確な記録や回答が得られませんでした。 - 1 - (3)、 - 1 - (4)の指摘・推奨事項を参考に、保育の質の向上や改善のための取り組みを、計画の改定や次月の計画策定に反映して、具体的な質の向上と改善への取り組みを図られることをおすすめします。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 1 - (5) 保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加により行っている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	推奨事項 1 - 1 - (3)、1 - 1 - (4)の改善と共に、実施している具体的な質の向上への取り組みを記録に留め、反省と共に次月への反映につながる様に、会議・書式の改善を図りつつ実施していきます。					

完了予定日 (または完了日)	16年より継続
-------------------	---------

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 1 理念・方針の明文化と整合性、自己評価
評価項目	- 1 - (6) 保育理念や基本方針を職員、保護者、関係者に周知するための取り組みを行っている。(43)		
	【判断基準】 a) 保育理念及び基本方針について、職員や保護者だけでなく、地域の住民や関係機関なども対象に含め、周知を図るための取り組みを行っている。 b) 保育理念及び基本方針について、職員や保護者に周知するための取り組みを行っているが、地域の住民、関係機関などには、その周知を図るための取り組みを行っていない。 c) 保育理念および基本方針について、職員に周知を図る取り組みを行っているが、保護者、関係者には行っていない。 d) 保育理念及び基本方針を職員、保護者、関係者いずれにも周知するための取り組みを行っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	b	「事業計画書」「運営委員会資料」「入園のしおり」「お知らせとお願い」「パンフレット」「職員会議録」「保育士会議録」「幼児ブロック会議録」「乳児ブロック会議録」「クラス懇談会議録」「個別面談記録」を確認。ヒアリングにて、職員や保護者には折に触れて周知しているが、関係者には周知できていないことを確認した。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (6) 保育理念や基本方針を職員、保護者、関係者に周知するための取り組みを行っている。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	b	推奨	各資料から職員や保護者には折に触れて周知していることが確認されました。ただ、掲示については事務所内に限られており、日常的に目に付く場所への掲示をおすすめします。また、関係者には周知できていないという事でしたが、地域を巻き込んだ行事や、保護者と連携した活動にも積極的に取り組まれていることから、そのような活動を機に、地域の方々や関係者への積極的な周知に取り組まれることをおすすめします。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月27日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 1 - (6) 保育理念や基本方針を職員、保護者、関係者に周知するための取り組みを行っている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	推奨事項 運営方針・保育理念・保育目標を園内厨房壁（事務所前）に平成16年2月19日設置済み。 平成16年度全保護者への配布物「園のおしらせ」に記載（新入園児家庭には説明会にて配布済み）・・・3月27日 保護者会新旧合同役員会にて説明し了解を得る。					

完了予定日 (または完了日)	16年 2月19日
-------------------	-----------

項 目 別 所 見			
大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 1 理念・方針の明文化と整合性、自己評価
施設名	記 載 内 容		
にいくら保育園	<p>「保育理念」「保育目標」「運営方針」が明文化してあり、その理念や目標を意識した行事や保育を行っているとの説明を受けました。また、職員と保護者の連携やコミュニケーションを円滑にしようとする試みも積極的に取り組まれています。しかし、そういった取り組みや保育の内容の根拠となる「保育計画」が作成されていないので、その策定が急がれます。また、その保育計画に基づいた指導計画の策定と定期的評価についても、計画（plan） 実行（do） 評価（測定）（check） 改善（act）（PDCAサイクル）の流れにのっとって実施されることを期待します。</p>		

大項目名	Ⅰ 発達援助の基本	中項目名	- 2 保育のための環境
評価項目	- 2 - (1) 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。(12)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 採光に配慮している。</p> <p>イ 換気に配慮している。</p> <p>ウ 各部屋に湿温計などがあり、温度・湿度に配慮している。</p> <p>エ 手洗い場、トイレは、保育中も時折清掃し、不快なおいがないようにしている。</p> <p>オ 寝具の消毒や乾燥を定期的に行っている。</p> <p>カ 屋外の砂場や遊具の衛生面に配慮している。</p> <p>【総合判断基準】a.よく整備されている。 b. 概ね整備されている。c.整備が不十分である。 d.整備されていない。 (判断のめやす) a.....不適合なし b..... 1点不適合 c..... 2点不適合 d..... 3点以上不適合</p>		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	視察にて換気が必要なときには窓を開けたり、採光にも配慮をしているところを確認。布団乾燥は業者に委託(月1回実施)トイレ・小便器を高圧洗浄(年1回)清掃業務委託(16時以降毎日)をしていることを確認。砂場の消毒は週1回ピュラックスを使用・ビニールシートをかけ、使用する際にはすすようにしている。	

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 2 保育のための環境
評価項目	- 2 - (2) 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。(52)		
	【判断基準】 a) 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルがあり、適切に実施されている。 b) 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルはないが、確立された手順のもとに適切に実施されている。 c) 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルはあるが、適切に実施されていない。 d) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施されておらず、そのためのマニュアルもない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	C	「衛生管理点検表」「衛生管理点検結果報告書」を確認。視察にて調理室、調乳室、園児用手洗い場、トイレ、クラス内衛生管理状況を視認した。調理は外部委託のため、業者から衛生管理についての報告が行われているが、それとは別に、園の栄養士が策定した衛生管理チェック表があり、独自の調理室衛生管理を行っている。しかし、調理室への保育士の出入りや園児用手洗い場、トイレやコップなどの備品に関する管理は明確なルールやマニュアルは存在せず、保育士に任されている。また、視察において、洗面台の下に消毒液とそれに浸した雑巾入りのバケツが置かれている状況を確認した。(指摘事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 2 - (2) 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	C	指摘	調理室については、独自の衛生管理チェックを行うなど清潔かつ衛生的に保とうとする取り組みが確認されました。しかし、それ以外の水周りについては明確な管理マニュアルや確立した手順・方法が確認できず、保育士の自主性や申し合わせに任されており、管理できていない現状も確認されました。廊下に椅子を台替わりに置いてある園児用コップやトイレの衛生管理、園児用手洗い場にぬれたまま放置された台拭きや濡れたままのマット(乳児室) 調乳室に食器用洗剤と化学洗剤(マイペット)が並置してある状況と職員用タオルの共用状況(交換時期やチェック表不備) といった調理室以外の水周りに関する配慮や管理マニュアル、チェック記録などを整備して、衛生管理が行き届くよう改善して下さい。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 2 - (2) 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	<p>指摘事項</p> <p>調理場（調乳室）への出入りは担任など関係者以外の出入りは極力しない。また簡易な鍵（訪問調査後すぐ）を設置。衛生管理マニュアルは平成16年度看護師（現在育児休業中、4月中旬復帰予定）と環境整備担当者が中心になり作成。その後職員会議や保育士会議・業務日誌を通し周知します。</p> <p>ピューラックスは児童の手の届かない位置へ移動（訪問調査後直ぐ）。濡れ雑巾に関しては配水管の水漏れ修理（2月27日）後移動済み。</p>					

完了予定日 (または完了日)	16年 4月上旬日
-------------------	-----------

大項目名	Ⅰ 発達援助の基本	中項目名	- 2 保育のための環境
評価項目	- 2 - (3) 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。(13)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 子どもが不安になった時などにいつでも応じられるように、保育者が身近にいる。【0～2歳児】</p> <p>イ 一人一人の子どもがくつろいだり落ち着ける場所がある。</p> <p>ウ 眠くなった時に安心して眠ることができる空間が確保されている。【0～1歳児】</p> <p>エ 食事のための空間が確保されている。</p> <p>オ 季節にあわせてインテリアが工夫されている。</p> <p>カ 音楽や保育者の声など、音に配慮している。</p> <p>キ 屋外での活動の場が確保されている。</p> <p>【総合判断基準】 a. よい取り組みが行われている。 b. 概ね取り組みが行われている。 c. 取り組みが不十分である。 d. 取り組みが行われていない。 (判断のめやす) a.....不適合1点以内 b.....2～3点不適合 c.....4～5点不適合 d.....6点以上不適合</p>		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	視察にて0・1歳児のクラスより部屋の棚の上に観葉植物や花が飾られていることを確認。また0・1歳児のクラスには畳があり、主に0歳児の遊べるスペースとして活用するほか、眠くなったときにはその場所で寝ることが出来るように配慮されている。食事に関しても4・5歳児合同で5歳児クラスを食事の部屋とし、4歳児のクラスを午睡準備等に利用するなど子どもの生活にふさわしい環境を確保する努力がみられた。	

大項目名	I 発達援助の基本		中項目名	- 2 保育のための環境
評価項目	- 2 - (4) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。(23)			
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 好きなことをしてくつろげる空間や遊具がある。</p> <p>イ 長時間保育を受ける子どもに夕食や軽食が提供されている。</p> <p>ウ 一人一人の子どもの要求に応えて、抱いたり、声をかけるなど、ゆったりと接している。</p> <p>エ 異年齢の子ども同士で遊べるように配慮されている。</p> <p>オ 子どもの状況について、職員間の引継ぎを適切に行っている。</p> <p>【総合判断基準】 a.よく配慮されている。 b.概ね配慮されている。 c.配慮が不十分である。 d.配慮されていない。 (判断のめやす) a.....不適合なし b.....不適合2点以内 c.....3～4点不適合 d.....不適合5点以上</p>			
施設名	評価	判断根拠		
にいくら保育園	b	<p>ヒアリングにて「特選勤務の内容について」「降園時間表」「延長保育申請書」「延長保育申込書」「土曜保育申請書」「延長保育利用児童数」「臨時延長保育申込書」を確認。視察にて3・4・5歳児は3歳児のクラスにて「こま回し・ブロック・絵描き」を各々活動していることを確認。また0・1・2歳児は「積み木・ブロック・シール貼り」をしていることを確認。18時30分からおやつを2歳児クラスにて、食事を3歳児クラスにて食べ、その後2歳児クラスに移動し合同で活動することをヒアリングにて確認。連絡事項に関しては、担任から口頭で遅番担当に伝えるとともに連絡帳で補完し、謝罪など担当がフォローできない場合には園長が対応している。(推奨事項参照)</p>		
推奨事項 / 指摘事項		- 2 - (4) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。		
施設名	評価	種別	記載内容	
にいくら保育園	b	推奨	<p>延長保育の時間帯のために部屋の仕様を変え、工夫をしていることを確認しました。ただ子どもの引継ぎに関しては、迎えの時間の記録のみで担任から遅番職員に口頭での伝達により、漏れが生じることもあるとのことでしたので、今後は保護者への伝達に関して確実に伝えるためのしくみを構築されることをおすすめします。</p>	

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 2 - (4) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)		推奨事項 夕方の引き継ぎ事項に関し、書式を作成し伝達もれの無いように努力します。				

完了予定日 (または完了日)	16年 3月31日
-------------------	-----------

大項目名	Ⅰ 発達援助の基本	中項目名	- 2 保育のための環境
評価項目	- 2 - (5) 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。(16)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 子どもの発達段階に即した玩具や遊具が用意されている。</p> <p>イ 子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。</p> <p>ウ 好きな遊びができるコーナーが用意されている。</p> <p>エ 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。</p> <p>【総合判断基準】a.環境がよく整備されている。 b.概ね整備されている。 c.整備が不十分である。 d.整備されていない。</p> <p>(判断のめやす) a.....不適合なし b..... 1点不適合 c..... 2点不適合 d.....不適合3点以上</p>		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	視察にて2歳児に絵本・おもちゃ・ままごと・積み木が設置され、3歳児の部屋にも絵本・ブロック・積み木のコーナーを確認。5歳児の部屋にはクレヨン・紙・ブロック・ゲーム・かるたが置いてある棚があり、午前中の自由時間(朝の室内遊び・延長保育の時間帯)に自由に遊べるようになっていることをヒアリングにて確認。4歳児の部屋にて午前中室外活動ができない子どもに切り紙・絵本読み・絵描きをしているところを視察にて確認。	

大項目名	I 発達援助の基本		中項目名	- 2 保育のための環境
評価項目	- 2 - (6) さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。(18)			
	【判断基準】 ア 子どもが自由に歌ったり、踊ったりする場面がみられる。 イ さまざまな楽器を楽しめるようになっている。 ウ クレヨン・絵具・粘土・紙など、様々な素材を子どもたちが自分で使えるように用意されている。 エ 子どもの作品が保育に活かされたり、工夫して飾られたりするなど、大切に扱われている。 オ 身体を使った様々な表現遊びが取り入れられている。 カ 絵本の読みきかせや紙芝居などを積極的に取り入れている。 【総合判断基準】 a.よく配慮されている。 b.どちらかといえば配慮されている。 c. 配慮が不十分である。 d.配慮されていない。 (判断のめやす) a.....不適合1点以内 b.....2点不適合 c.....3点不適合 d.....不適合4点以上			
施設名	評価	判断根拠		
にいくら保育園	b	子どもの作品が部屋に飾られているのを確認。3歳以上児よりお道具箱があることを確認。製作は1年間の作品を製作帳に貼り、家に持ってかえることをヒアリングにて確認。絵本を午睡前や食事の前に実施していることを確認。5歳児の部屋に掲示してあった「おうちの様子」(12/15実施)に関して「年間指導計画」「12月保育計画」「保育日誌」を確認。(推奨事項参照)		
推奨事項 / 指摘事項		- 2 - (6) さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。		
施設名	評価	種別	記載内容	
にいくら保育園	b	推奨	5歳児の部屋にて製作された作品をすぐに掲示し、子どもたちが自分の作品や友達の作品を見ることができるよう配慮されていましたが、掲示されている「おうちの様子」(12/15)に関して「年間指導計画(三期)」「12月保育計画」には「おうちの様子」に関する記載はなく「保育日誌(12/15)」のみの記載でした。通常「保育計画」に基づき「年間指導計画」が策定され、その計画に基づき「月間指導計画」が策定され、その計画に基づいて「週案」が策定され、実施した記録が「保育日誌」に記載されていきます。計画は抽象的なものからより具体性をもったものへと策定され、ひとつの指導が実施されていきますので、今後は整合性をもった計画の策定・記載をおすすめします。	

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 2 - (6) さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	推奨事項 保育計画を作成し日々の児童の活動が抽象的な計画によらず、より具体的であり他の計画との整合性を持ったものになるよう、1 - 1 - (2)以降の見直しと共に実施していきます。また、事前計画では予知出来ない経験などのチャンスに対し柔軟に対応できる様、配慮したものにしていきます。					

完了予定日 (または完了日)	16年 4月
---------------------------	--------

項 目 別 所 見			
大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 2 保育のための環境
施設名	記 載 内 容		
にいくら保育園	<p>子どもたちが生活をするのに相応しい環境を提供していこうと努力をされていました。ただ、衛生管理に関して改善すべき点がありましたので、今後改善を図り、今以上により保育環境が提供できるように設定をされていかれることをおすすめします。</p>		

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 3 保育サービス(ベーシック)
評価項目	- 3 - (1) 身近な自然や社会と関われるような取り組みがされている。(17)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 子どもが身近に動植物に接する機会をつくっている。</p> <p>イ 園庭や散歩で拾ってきた葉や木の実など、季節感のある素材を活用している。</p> <p>ウ 散歩などで地域の人たちに接する機会をつくっている。</p> <p>エ 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。</p> <p>【総合判断基準】</p> <p>a.よく取り組みがなされている。 b.概ね取り組みがなされている。 c.取り組みが不十分である。 d.取り組みがなされていない。</p> <p>(判断のめやす) a.....不適合なし b.....1点不適合 c.....2点不適合 d.....不適合3点以上</p> <p>(ア・イについては地域性を考慮し、施設の状況に応じた取り組みがなされていれば可とする)</p>		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	視察にて玄関にめだかと亀を飼育、園庭にはスマレの花が植えてあり、5歳児が花に水やりをしているところを確認。ヒアリングにて5歳児トマト・ひまわり、4歳児おくら、1・2歳児サツマイモを栽培していることを確認。ただ、1歳児「10月指導計画」「年間保育計画」「日誌」(10/17いもほり)(10/21調理保育)を確認したが、整合性が得られなかった。ヒアリングにて地域の公共機関として「新倉児童センター」「新倉北地域センター」に散歩に行くことを確認。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 3 - (1) 身近な自然や社会と関われるような取り組みがされている。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	a	推奨	身近な自然に触れる機会として栽培し、収穫したものを調理保育として実施し、身近な自然に触れ、栽培する楽しさを子どもたちに指導する配慮がなされていましたが、ただ、1歳児「サツマイモ栽培について」「野菜の感触」として「感触を楽しむ」という記載は「年間指導計画」「10月保育計画」にはありますが、指導の配慮及び実施した計画に対する評価・反省が記載されていませんでした。また調理保育「おいもクリーム」(10/21)実施計画は記載されていましたが、評価・反省が記載されていませんでした。今後は計画したことが子どもの育ちにどのように反映されどのように展開していくのか明確にされることをおすすめします。

【施設記入】改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 3 - (1) 身近な自然や社会と関われるような取り組みがされている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	推奨事項 1 - 1 - (3)、1 - 1 - (4) などの見直しの中で、実施した保育の内容について評価・反省が記載され、子ども達の育ちへの反映が明確にされるよう話し合いと、記録の仕方の改善を図ります。					

完了予定日 (または完了日)	16年 4月上旬
---------------------------	----------

大項目名	I 発達援助の基本		中項目名	- 3 保育サービス(ベーシック)
評価項目	- 3 - (2) 遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。(19)			
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 子ども同士の関係をよりよくするような適切な言葉かけをしている。</p> <p>イ けんかの場面では、危険のないように注意しながら、子どもたち同士で解決するように援助している。</p> <p>ウ 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。</p> <p>エ 当番活動などが日常生活の中で行われている。</p> <p>オ 異年齢の子どもの交流が行われている。</p> <p>【総合判断基準】 a.よく配慮されている。 b.概ね配慮されている。 c.配慮が不十分である。 d.配慮されていない。 (判断のめやす) a.....不適合1点以下 b.....2点不適合 c.....3点不適合 d.....不適合4点以上</p>			
施設名	評価	判断根拠		
にいくら保育園	a	3歳以上児は当番制を取り入れ「朝の会・給食・お帰りの当番になることを確認。5歳児の「一日さくらさんとあそぶ日(12月より実施)」に関して「年間指導計画」「12月指導計画」「週案」「保育日誌」を確認。5歳児が3歳児のお世話をする「おせわがんばれ」を実施していることを掲示にて確認。(推奨事項参照)		
推奨事項 / 指摘事項		- 3 - (2) 遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。		
施設名	評価	種別	記載内容	
にいくら保育園	a	推奨	異年齢の子どもの交流として「一日さくらさんとあそぶ日」を月1回実施されていきました。その計画は12月に子どもの人数が減ったため(休みのため)「異年齢交流」を急遽実施したということで「年間指導計画」「12月保育計画」には記述されていないとのことでした。ただし、「週案(12/22の週)」には異年齢交流の記載があり、「保育日誌(12/25)」にも記録されていました。途中での計画・実行だということでしたが、その際には「年間指導計画」変更記載並びに「12月保育計画」には評価・反省をし、今後の継続した取り組みとして実施していく旨を記載して計画を立てていかれることをおすすめします。	

【施設記入】改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 3 - (2) 遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	推奨事項 1 - 2 - (6) の見直しにあわせ、児童状況や予知できにくい経験のチャンスに対する取り組みと、結果に対する反省を活かし継続していくかどうかを明確に記載していく努力をします。					

完了予定日 (または完了日)	16年 4月より
-------------------	----------

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 3 保育サービス(ベーシック)
評価項目	- 3 - (3) 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。(20)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 子どもが、自分の意見を保育者などの大人にはっきり言うことができるよう配慮している。</p> <p>イ 子どもが、他の子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。</p> <p>ウ 一人一人の子どもの生活習慣や文化、考え方などの違いを知り、それを尊重する心を育てるよう努めている。</p> <p>エ 子どもの人権への配慮や互いを尊重する心を育てるための具体的な取り組みを行っている。</p> <p>オ 子どもの権利擁護に関する研修等に職員が参加している。</p> <p>【総合判断基準】a.よく配慮されている。 b.概ね配慮されている。c.配慮が不十分である。 d.配慮されていない。</p> <p>(判断のめやす) a.....不適合1点以下 b.....2点不適合 c.....3点不適合 d.....不適合4点以上</p>		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	b	<p>「父の日」「母の日」は実施せず、「ありがとうの日(6/4・11/21)」として駅前の交番・和光市駅改札口等にプレゼントをしたことを確認。運動会にてリレーを実施。リレーの順番は子どもたちと話しながら決める等の配慮をしたことをヒアリングにて確認。同じ法人内の障害児施設みつばすみれ学園との交流を確認。ただ3歳以上児が使用するトイレには入り口にレースののれんが設置されているのみでドアは設置されていなかった。また、夏場外でのシャワーの際、全裸になっていることをヒアリングにて確認。(推奨事項参照)</p>	
推奨事項 / 指摘事項		- 3 - (3) 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	b	推奨	<p>トイレにドアがないということで、入り口にレースののれんをする配慮をされていましたが、レース越しに中が見える状況でしたので、トイレにドアの設置をする等の配慮をおすすめします。また、夏場のシャワーの際には、外部からの視界をさえぎる等何らかの配慮をされるようおすすめします。</p>

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月27日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 3 - (3) 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	<p>推奨事項</p> <p>夏場のシャワーの際は、ついたてなどで視界をさえぎる工夫と配慮をします。・・・3月27日保護者会新旧合同役員会にて説明し了解を得る。</p> <p>又、幼児用トイレのドアについては構造上困難な点が多く、今後はこども福祉課や専門家などとの相談の上、保育園運営委員会・保護者会などで、検討していきたい。</p>					

完了予定日 (または完了日)	16年 夏頃
-------------------	--------

大項目名	I 発達援助の基本		中項目名	- 3 保育サービス(ベーシック)
評価項目	- 3 - (4) 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。(21)			
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないための配慮について、マニュアルや会議などを通じ、職員間での意思統一が図られている。</p> <p>イ 子どもの態度や服装、遊び方などについて、性差への先入観による固定的な対応をしていない。</p> <p>ウ 育児、家事、介護などについて、性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識などを植え付けないよう配慮している。</p> <p>エ 職業について、性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識などを植え付けないよう配慮している。</p> <p>【総合判断基準】a.よく配慮されている。 b.概ね配慮されている。c.配慮が不十分である。 d.配慮されていない。</p> <p>(判断のめやす) a.....不適合なし b.....1点不適合 c.....2～3点不適合 d.....適合なし</p>			
施設名	評価	判断根拠		
にいくら保育園	b	ヒアリングにて「行事表」「名簿」「お知らせとお願い(入園時)」「通知文」を確認。視察にて5歳児「おせわがんばれ」の表示が「5歳児男の子青・女の子赤」に分けられグループ別表も「男の子黒・女の子赤」で色分けされていることを確認。ヒアリングにて性差に関するマニュアルや会議の実施はされていないことを確認。(推奨事項参照)		
推奨事項 / 指摘事項		- 3 - (4) 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。		
施設名	評価	種別	記載内容	
にいくら保育園	b	推奨	ヒアリングにて男の子女の子に無意識に色で分けていたところがあるとのことでした。また性差に関してマニュアルも会議も実施されておらず、今後はその必要性を感じているとのことでしたので、性差についてマニュアルの作成や会議を実施し、職員の共通理解を図られることをおすすめします。	

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月27日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 3 - (4) 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	推奨事項 - 1 - (2) (3) などの検討の中で、確認し周知。 男女の特性についての対応に関し3月27日保護者会新旧役員会にて説明し了解をえる。					

**完了予定日
(または完了日)**

16年 3月31日

大項目名	I 発達援助の基本		中項目名	- 3 保育サービス(ベーシック)
評価項目	- 3 - (5) 食事を楽しむことができる工夫をしている。(11)			
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 食事をする部屋としての雰囲気づくりに配慮している。</p> <p>イ 食器の材質や形などに配慮している。</p> <p>ウ 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。</p> <p>エ 子どもの負担になるほどに、残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていない。</p> <p>オ 子どもが落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。</p> <p>カ 時には戸外で食べるなど、様々な食事のスタイルの工夫がある。</p> <p>キ おやつは、手作りを心がけている。</p> <p>ク 旬のものや季節感のある食材やメニューを取り入れている。</p> <p>ケ 嗜好や喫食状況に基づき食事内容を改善している。</p> <p>コ 子どもが育てた野菜などを料理して食べることがある。</p> <p>サ 子どもが配膳や後片づけなどに参加できるよう配慮している。</p> <p>シ 調理作業をしている場面を子どもたちがみたり、言葉を交わしたりできるような工夫を行っている。</p> <p>【総合判断基準】 a.よく工夫をしている。 b.概ね工夫をしている。 c.工夫はしているが、不十分である。 d.工夫をしていない。 (判断のめやす) a.....不適合2点以下 b.....3～4点不適合 c.....5～10点不適合 d.....11点以上不適合 (コについては、地域性により実施が困難である場合は、不適合であってもカウントする必要はない)</p>			
施設名	評価	判断根拠		
にいくら保育園	a	ヒアリングにて「調理保育」を栄養士のアドバイス・管理のもと実施したり、5歳児は給食配膳(おつゆを注ぐ)をおこない、全クラスともお替りが自由にできるようにしていることを確認。また「給食試食会」を年に2回実施し、栄養士と交流をもっていることを確認。また視察にて2歳児の喫食状況について保育士が一人ずつメモをとりながら確認作業をしていた。(推奨事項参照)		
推奨事項 / 指摘事項		- 3 - (5) 食事を楽しむことができる工夫をしている。		
施設名	評価	種別	記載内容	
にいくら保育園	a	推奨	「調理保育」を実施し、子どもたちが栽培・調理を通して食事を楽しむことを積極的に実施されていました。ただ、3歳児の食事の場面で、食事の介助が後方から立ったまま行われており「介助の仕方について適切ではなく、職員共通の方法は話し合われていない」ということでしたので、今後は介助の仕方について職員で話し合い共通理解及び実施されることをおすすめします。	

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 3 - (5) 食事を楽しむことができる工夫をしている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	推奨事項 食事の介助に限らず、児童との関わり、介助に関し年齢の育ちなども配慮し、クラス会議や保育士会議などで確認し、共通で対応できるように改善します。					

**完了予定日
(または完了日)**

16年 4月から

項 目 別 所 見			
大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 3 保育サービス（ベーシック）
施設名	記 載 内 容		
にいくら保育園	<p>乳児期から自然に親しむ環境を提供し、調理保育も取り入れる等、栽培・調理・食を実践する保育を積極的に実施されてきました。ただ、性差や人権に関して一部配慮を要する事項がありますので、今後は保育環境の見直しを行う中で、更によりよい保育が提供されていかれることを期待いたします。</p>		

大項目名	Ⅰ 発達援助の基本		中項目名	- 4 保育サービス（オプションル）
評価項目	- 4 - (1) 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。(22)			
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 授乳は、子どもが欲しがるときに、抱いて目をあわせたり、微笑みかけたりしながらゆったりと飲ませている。</p> <p>イ 離乳食については、家庭と連携をとりながら、一人一人の子どもの状況に配慮して行っている。</p> <p>ウ おむつ交換時は、やさしく声をかけたり、スキンシップをとりながら行っている。</p> <p>エ 一人一人の生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。</p> <p>オ 外気に触れたり、戸外遊びを行う機会を設けている。</p> <p>カ 喃語には、ゆったりとやさしく応えている。</p> <p>キ 顔を見合ってあやしたり、乳児とのやりとりや触れ合い遊びを行っている。</p> <p>ク たて抱き、腹這いなど、子どもの姿勢を変えている。</p> <p>ケ 寝返りのできない乳児を寝かせる場合には仰向けに寝かせている。</p> <p>コ 特定の保育者との継続的な関わりが保てるよう配慮している。</p> <p>【総合判断基準】</p> <p>a.よく配慮されている。 b.概ね配慮されている。 c.配慮が不十分である。 d.配慮されていない。</p> <p>(判断のめやす)</p> <p>a.....不適合1点以内 b.....2～3点不適合 c.....4～6点不適合 d.....不適合7点以上</p>			
施設名	評価	判断根拠		
にいくら保育園	a	視察にて0・1歳児は同じ部屋であるが、畳の部屋・サンルーフを0歳児とし、0歳児の玩具を写真入りで掲示し、整理する等の配慮がされていたことを確認。又1歳児と共に小麦粉粘土を活動していることを確認。離乳食に関して保護者に「給食説明」「生活状況表」を記入していただき、「保育園での離乳食のすすめ方」を配布。入園説明時に栄養士と個人面接を実施し、すすめていることを確認。「寝た時間・ミルクの量」を記入するボードが掲示してあることを確認。(推奨事項参照)		
推奨事項 / 指摘事項		- 4 - (1) 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。		
施設名	評価	種別	記載内容	
にいくら保育園	a	推奨	乳児保育のための環境をサンルーフ設置や畳の部分を活用する等配慮されていることを確認しました。ただ、午睡時にSIDS予防として時々息を確認、仰向けにする配慮をしているとのことでしたが、確認を定期的に行われているかどうかは明確ではありませんでした。今後は実施確認及び保育士相互の共通認識・理解のために明確化されるしくみをつくられることをおすすめします。	

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月27日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 4 - (1) 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	<p>推奨事項</p> <p>平成16年度より乳児(0歳児)の午睡時のSIDS予防として定期的確認の書式を作成し関わる職員の共通認識での対応を行います。・・・3月27日保護者会新旧役員会にて説明し了解を得る。</p>					

完了予定日 (または完了日)	16年 3月31日
-------------------	-----------

大項目名	I 発達援助の基本		中項目名	- 4 保育サービス（オプションル）
評価項目	- 4 - (2) 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。(24)			
	<p>ア 障害のない子どもの、障害児への関わりに対して配慮している。</p> <p>イ 園舎はバリアフリーの配慮がみられる。</p> <p>ウ 障害児の特性に合わせた園での生活の仕方の計画が立てられている。</p> <p>エ 障害児保育について保育所全体で定期的に話し合う機会を設けている。</p> <p>オ 障害児保育に携わる者は、障害児保育に関する研修を受けている。</p> <p>カ 医療機関や専門機関から相談や助言を必要に応じて受けられる。</p> <p>キ 保護者に、障害児に関する適切な情報を伝えるための取り組みを行っている。</p> <p>【総合判断基準】 a.よく配慮されている。 b.概ね配慮されている。 c.配慮が不十分である。 d.配慮されていない。 (判断のめやす) a.....不適合1点以内 b.....2点不適合 c.....3~4点不適合 d.....不適合5点以上 (評価実施時点において当該施設に障害児がいない、もしくは入所の見込みがない場合は評価を行わず、その旨付記する)</p>			
施設名	評価	判断根拠		
にいくら保育園	b	「年間指導計画」「月間指導計画」「児童票(K・Y児)」「クラス会議録」「保育日誌」「幼児ブロック会議録」「保育士会議録」「職員会議録」「育成連絡会議資料」「巡回相談記録」「保護者面談記録」を確認。現在2名の育成保育対象児が在園しており、そのうち1名の児童票は職員が記録のため持ち帰っていた。研修参加や必要に応じた会議での討議は確認されたが、障害児の個別計画は策定されていなかった。(推奨事項参照)		
推奨事項 / 指摘事項		- 4 - (2) 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。		
施設名	評価	種別	記載内容	
にいくら保育園	b	推奨	研修参加や必要に応じた会議での討議は確認されましたが、障害児の個別指導計画は策定されていませんでした。障害児は個別に障害の状況が違っており、育成計画などによる個別配慮が必要です。また、定期的なケース会議や処遇についての会議において、健常児と障害児のコミュニケーションや保育における配慮事項の策定などの取り組みも必要です。そのような事項を反映した障害児の個別指導計画を策定されることをおすすめします。	

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 4 - (2) 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)		推奨事項 育成保育（障害児保育）の個別指導計画が明確に伝わる書式で作成し、定期的なケース会議を年間計画の中に組み込み実施します。				

完了予定日 (または完了日)	16年 4月より
-------------------	----------

項 目 別 所 見

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 4 保育サービス（オプションル）
施設名	記 載 内 容		
にいくら保育園	<p>乳児に対しては、入園児に栄養士と個人面談をして離乳食の進め方を保護者と連携をとりながら実践されていました。保育に関しても1歳児と一緒に活動が展開される場面もあり工夫をされていました。障害児保育も実施されていましたが、配慮を行ったほうがよい点もありましたので、職員相互の理解のもと、今以上に充実した保育が実施できるよう努めていかれることを期待いたします。</p>		

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 5 一人一人の子どもへの理解・配慮
評価項目	- 5 - (1) 一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。(3)		
	【判断基準】 a) 一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。 b) 子どもの発達状況に配慮しているが、一人一人に配慮した指導計画となっていない。 c) 子どもの発達状況の把握に努めているが、それに配慮した指導計画となっていない。 d) 子どもの発達状況の把握に努めていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	C	「年間指導計画」「月間指導計画」「児童票(Y・M児、U・K児)」「クラス会議録」「保育日誌」「幼児ブロック会議録」「乳児ブロック会議録」「保育士会議録」「職員会議録」を確認。発達状況については一人ひとりの子どもに関して児童票に記録されているが、未満児の個別指導計画が整備されていない。3歳以上児については、指導計画や週案など配慮事項の記載がなく、ヒアリングで保育士の裁量に任せていることを確認した。(指摘事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 5 - (1) 一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	C	指摘	発達状況については一人ひとりの子どもに関して児童票に記録されていましたが、未満児の個別指導計画が整備されていません。また、3歳以上児については指導計画や週案など配慮事項の記載がありませんので、各保育士の裁量に任されている状況です。「保育所保育指針」では第11章に指導計画の立て方や要点が示されており、未満児には個別の指導計画や配慮が必要とされています。未満児については個別指導計画(月間)を策定して下さい。また3歳以上児については、指導計画上に配慮事項(必要に応じて個別配慮計画)を策定して下さい。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 5 - (1) 一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	指摘事項 - 1 - (2) (3) の検討と共に、未満児に関してはクラス担任が保育所保育指針に照らし合わせ月間個別指導計画書を作成。また3歳以上児に関しては指導計画書に配慮点などを記載のため検討・作成中。					

完了予定日 (または完了日)	16年 3月31日
-------------------	-----------

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 5 一人一人の子どもへの理解・配慮
評価項目	- 5 - (2) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。(4)		
	【判断基準】 a) 一人一人の子どもの記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。 b) - c) 一人一人の子どもの記録があるが、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されていない。 d) 一人一人の子どもの記録がない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	b	「年間指導計画」「月間指導計画」「児童票（Y・M児、U・K児、K・R児）」「クラス会議録」「保育日誌」「幼児ブロック会議録」「乳児ブロック会議録」「保育士会議録」「職員会議録」「生活状況票」「生活調査票」「連絡帳」を確認。ヒアリングにて、園児に関する記録や各資料はファイリングケースから閲覧できるようにしており、必要に応じて各会議等で話し合いを持っているとの説明を受けた。ただ、記録からは保育上の問題点（保育課題）の把握までは記録されておらず、周知の確実性についても不明だった。（推奨事項参照）	
推奨事項 / 指摘事項		- 5 - (2) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	b	推奨	園児に関する記録や各資料はファイリングケースから閲覧できるようにしており、必要に応じて各会議等で話し合いが行われています。ただ、議事録などの記録からは、現状認識や現状報告は確認されましたが、保育目標（課題）やそれに対する具体的対応や対策が記録されていない事例が確認されました。一人ひとりの子どもに関する保育課題を明確化することと、その対応（対策）について記録し、指導計画に配慮事項として反映されることをおすすめします（ - 5 - (1)、 - 5 - (3)との関連）。また関係職員への周知については、職員が周知の必要な資料やファイルに目を通して理解しているかのチェックがされていないため、確実に周知されているかは不明です。代替勤務や延長保育勤務もあることから、一人ひとりの子どもに関する情報を、職員が共有できる工夫を図ることをおすすめします。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 5 - (2) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	<p>推奨事項</p> <ul style="list-style-type: none"> - 1 - (2) \ (3) など検討の中で、確認し周知する。 - 5 - (1) の個別的計画や配慮点などの周知に関しては、保育士会議や書類の回覧などにて周知を図り、参加者の確認や回覧には捺印にて周知の確認を図る。 					

完了予定日 (または完了日)	16年 3月31日
---------------------------	-----------

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 5 一人一人の子どもへの理解・配慮
評価項目	- 5 - (3) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。(5)		
	【判断基準】 a) ケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。 b) ケース会議を必要に応じて開催しているが、定期的には開催していない。 c) - d) ケース会議を開催していない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	b	「年間指導計画」「月間指導計画」「児童票（Y・M児、U・K児、K・R児）」、「クラス会議録」「保育日誌」「幼児ブロック会議録」「乳児ブロック会議録」「保育士会議録」「職員会議録」「生活状況票」「生活調査票」「連絡帳」を確認。ヒアリングおよび視察にて保育の実態を確認。ヒアリングにおいて保育士の保育観の均一化が課題となっている現状を確認した。（推奨事項参照）	
推奨事項 / 指摘事項		- 5 - (3) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	b	推奨	各議事録などから必要に応じて話し合う機会を設けていることを確認しました。しかし、ケース会議としてよりも、通常の各会議の中で触れられることが多く、また定期的には行われておらず、担任保育士からケース会議が必要だという申し出があった話し合われている状況です。今後は定期的に機会を設け、一人ひとりの子どもに対する理解をより深める取り組みがなされることを期待します。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 5 - (3) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	推奨事項 - 1 - (2) (3) などの検討の中で、確認し周知する。 保育に支障の無いように時間の使い方を工夫し、定期的会議が出来るように年間計画を立て実施の努力をします。					

**完了予定日
(または完了日)**

16年 3月31日

大項目名	I 発達援助の基本		中項目名	- 5 一人一人の子どもへの理解・配慮
評価項目	- 5 - (4) 子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。(14)			
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 子どもに分かりやすい温かな言葉づかいで、おだやかに話している。</p> <p>イ 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など制止する言葉を不必要に用いないようにしている。</p> <p>ウ 子どもの質問に対して、可能な限りその場で対応するよう努めている。</p> <p>エ 「できない」「やって」などと言ってくる子どもに対して、その都度気持ちを受け止めて対応している。</p> <p>オ 「いや」などと駄々をこねたり、自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。</p> <p>カ 登園時に泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ったりするのではなく、子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をかけたりしている。</p> <p>【総合判断基準】</p> <p>a.子どもをよく受容しようと努めている。 b.概ね子どもを受容しようと努めている。 c.子どもを受容しようとする努力が不十分である。</p> <p>d.子どもを受容しようと努めていない。</p> <p>(判断のめやす)</p> <p>a.....不適合1点以下 b.....2～3点不適合 c.....4点不適合 d.....5点以上不適合</p>			
施設名	評価	判断根拠		
にいくら保育園	b	「月間指導計画」「児童票」「さくら組会議録」を確認。5歳児S・K児について「12月指導計画反省」「児童票」「さくら組会議録(12/12)」に「清潔」に関して配慮を必要とする記載を確認。ヒアリングにて保育士の保育観にばらつきがあることを確認。(推奨事項参照)		
推奨事項 / 指摘事項		- 5 - (4) 子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。		
施設名	評価	種別	記載内容	
にいくら保育園	b	推奨	気になる子に関して配慮を必要とする記載はされていましたが、その後の経過及び他の職員の周知徹底に関しては、明確ではありませんでした。また、保育士によって、あるいはクラスによって、ケース会議の実施方法・周知方法が統一されていません。今後は保育士の資質やクラスによってばらつきが出ないようなしくみをつくられることをおすすめします。	

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 5 - (4) 子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)		推奨事項 - 1 - (2) (3) などの検討の中で、確認し周知する。 - 5 - (3) と同様に年間計画の中で定期化に努め、書式の統一化と見直しを行い、より良いものに修正の努力をしていきます。				

完了予定日
(または完了日)

16年4月より継続

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 5 一人一人の子どもへの理解・配慮
評価項目	- 5 - (5) 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子ども状況に応じて対応している。(15)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 可能な限り、トイレに行くことをせかしたり、強制したりせずに、一人一人のリズムに合わせるようにしている。</p> <p>イ おもらしをしたときに、その都度やさしく対応し、子どもの心を傷つけないよう配慮している。</p> <p>ウ 可能な限り、衣服の脱ぎ着に際して、せかしたり、着せてしまったりしないで、自分でやろうとする子どもの気持ちを大切にしている。</p> <p>エ 子どもが自分で着脱しやすいように、衣類の整理の仕方や着方の援助について工夫がみられる。</p> <p>オ 休息時には、子守歌を歌ったり、背中を軽くたたくなど、安心して心地よい眠りにつけるように配慮している。</p> <p>カ 休息時間以外でも、一人一人の状況に応じて、眠らせたり、身体を休ませるようにさせたりしている。</p> <p>キ 休息時間に、眠くない子どもへの配慮をしている。</p> <p>【総合判断基準】</p> <p>a.一人一人の子ども状況に応じてよく対応している。b.一人一人の子ども状況に応じ、概ねよく対応している。</p> <p>c.一人一人の子ども状況に応じた対応が不十分である。d.一人一人の子ども状況に応じた対応をしていない。</p> <p>(判断のめやす) a.....不適合1点以下 b.....不適合2～3点 c.....不適合4点 d.....不適合5点以上</p>		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	視察にてトイレは時間ごとに誘っているが、行きたいときにも行っているところを確認。またヒアリングにて2歳児の部屋は上衣・下衣をタンスで分ける配慮をしていること、眠たくなるときには部屋に布団を敷いて寝られるようにしているところを確認。視察にて午睡時にやさしく背中をたたく等配慮しているところを確認。	

項 目 別 所 見			
大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 5 一人一人の子どもへの理解・配慮
施設名	記 載 内 容		
にいくら保育園	<p>各種記録や視察から、一人ひとりの子どもたちに対する保育士の配慮や努力が観察されました。ただ、記録や計画の状況から、一人ひとりの子どもに対する保育目標の把握や配慮について、担任保育士を中心に各保育士の力量によって配慮が行われている現状がうかがえます。代替勤務や延長勤務にも配慮して、指導計画の配慮事項の策定とその計画や子どもの情報が共有できる仕組みの確立を図られることが期待されます。</p>		

大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
評価項目	- 1 - (1) 登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。(6)		
	【判断基準】 a) 健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。 b) 健康管理は、マニュアルなどはないが、各児童の健康状況に応じて実施している。 c) - d) 健康管理は、子ども一人一人の健康状態に応じて実施していない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	C	「お知らせとお願い(入園時配付資料)」に記載の「健康管理について」「感染症の『出席停止基準』表」「看護師会議録」を確認。ヒアリングにて、担任が登園時に口頭及び連絡帳による保護者からの伝達と視診・触診にて子どもの健康状態を把握し、看護師が必要な対処を行っていること、0歳児については担任が検温を行っていることを確認。また、朝の視診のマニュアルがなく、視診の判断基準の統一については正規職員レベルにとどまっているとのことであった。(指摘事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (1) 登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	C	指摘	視診についてのマニュアルがなく、手順の共有が正規職員レベルにとどまっているとのことでした。マニュアルを整備し、判断基準や対応の仕方について職員間での共有を図られて下さい。

【施設記入】改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 1 - (1) 登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	指摘事項 看護師などを中心に実際に行っていたものを文章化し、保育士会議・業務日誌などで職員間が共有出来るよう周知。					

**完了予定日
(または完了日)**

16年4月より

大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
評価項目	- 1 - (2) 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。(7)		
	【判断基準】 a) 健診結果について、保護者や職員に伝達し、保育に反映させている。 b) - c) 健診結果について、保護者や職員に伝達しているが、保育に反映させていない。 d) 健診結果について、保護者や職員に伝達していない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「各検診結果綴り」「職員会議録」「保育士会議録」「業務日誌」を確認。ヒアリングにて、検診結果については、保護者には異常なしの場合は白板、医師から指示があった場合には担任もしくは看護師から個別に伝達（口頭が基本、連絡帳で補完）すること、職員間では朝会・保育士会議・職員会議にて報告・伝達していることを確認。（推奨事項参照）	
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (2) 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	a	推奨	検診結果の保護者への伝達については口頭を基本とし、必要に応じて連絡帳で補完しているとのことでしたが、一定の様式による報告書の形で伝達する方法をご検討なさってはいかがでしょうか。その方がより確実であり、また保護者の方にとっても、報告書をそのまま主治医に提示すれば済むことになり利便性が向上します。ご検討をおすすめします。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 1 - (2) 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)		推奨事項 検診結果で、口頭や白板などでの伝達以外で補完の必要な児童や内容については、一定の様式による報告書の作成を検討します。				

完了予定日
(または完了日)

16年 5月中

大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
評価項目	- 1 - (3) 感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応じて保護者に連絡している。(8)		
	【判断基準】 a) 感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応じて保護者に連絡している。 b) - c) 感染症への対応については、発生の状況を必要に応じて保護者に対して連絡しているが、マニュアルなどはない。 d) 感染症への対応については、発生の状況を保護者に連絡していない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「お知らせとお願い(入園時配付資料)」に記載の「健康管理について」「感染症の『出席停止基準』表」を確認。ヒアリングにて、市内保育園統一のリスト(「感染症の『出席停止基準』表」)により対応を行っており、感染症発生時には園内掲示および文書によって保護者に通知していることを確認。	

大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
評価項目	- 1 - (4) 専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。(9)		
	【判断基準】 a) 専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。 b) - c) - d) 専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもに対する特別な取り組みを行っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「アレルギーに関するアンケート」「アレルギー除去食調査票」「一時的除去食申請書」「保育園給食個別対応申請書」「材料予定表一覧」を確認。ヒアリングにて、アレルギー疾患をもつ園児に対してはアンケートや除去食申請書、医師の診断に基づく給食個別対応申請書によって必要な対応を把握し、対応しており、また対象園児の保護者からは、「材料予定表一覧」によって除去すべき食材をチェックし、提出してもらっていることを確認。	

大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
評価項目	- 1 - (5) 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。(50)		
	【判断基準】 a) 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。 b) - c) 事故や災害に適切に対応できるマニュアルはあるが、全職員に周知されていない。 d) 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	C	「緊急時対応マニュアル」「防犯対応マニュアル」「トラブル対応マニュアル」「火災発生対応マニュアル」「地震発生対応マニュアル」「園内でのケガ・事故発生の対応」「火災・地震避難訓練計画」「火災・地震避難訓練記録」「職員会議録」「保育士会議録」「防犯会議録」を確認。火災・地震については定期的な訓練が行われているが、防犯については、マニュアルはあるが、訓練の実績がなかった。また、マニュアルの周知については短時間パート職員レベルにまで至っていないとのことであった(自己評価に記述あり、ヒアリングにて確認)。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (5) 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	C	指摘	災害時の対応については定期的な訓練が行われていますが、防犯面の訓練がなされておらず、また各マニュアルの周知について、短時間パート職員レベルにまでは徹底されていないとのことでした。昨今の社会情勢から、防犯面の対策は必須ですし、またマニュアルの周知は、在園するすべての職員が迅速かつ適切な対応を行える体制を整え、園児の安全を確保する上で欠かせないことといえます。上記2点について、早急な対処と改善を要望します。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 1 - (5) 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	指摘事項 防犯マニュアルは職員閲覧が出来るよう事務所内に設置済み。(3月22日)なお4月全体職員会議にて再度周知確認予定。 防犯訓練は2月13日、3月23日に実施済み。平成16年度は年間計画で定期訓練実施予定。					

**完了予定日
(または完了日)**

16年 3月23日

大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
評価項目	- 1 - (6) 事故防止のための具体的な取り組みを行っている。(51)		
	【判断基準】 a) 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。 b) 事故防止のためのチェックリスト等はないが、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。 c) - d) 事故防止に向けた具体的な取り組みを行っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	b	「環境整備会議録」「園庭把握会議録」「防犯会議録」「事故報告書」「不明児発生時の事故報告」を確認。事故防止に向けた話し合いを定期的に行っているほか、園児が外出時に着用する帽子に園名を記載するなど、取り組みを行っている。散歩時の注意事項・点検項目について、現在マニュアルを整備中とのこと。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (6) 事故防止のための具体的な取り組みを行っている。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	b	推奨	事故防止について、チェックリスト等がないため、保育士間で点検の項目や方法にばらつきが生じる可能性があります。また、事故発生時には朝会や会議等で周知を図っているとのことでしたが、その記録がほとんど確認できませんでした。事故報告書の回覧などによって職員間での共有を図り、再発防止の一助となさることをおすすめします。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 1 - (6) 事故防止のための具体的な取り組みを行っている。					
<p>推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)</p>	<p>推奨事項</p> <p>事故防止のチェックリストを作成しクラス会議・保育士会議・職員会議などで周知。 事故発生時の書式については、既存のものを使用しながら、今後検討をしながら、より記録しやすく適正なものになるように改善していくとともに、回覧の方法も検討していきます。</p>					

**完了予定日
(または完了日)**

16年4月より継続

大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
評価項目	- 1 - (7) 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている。(28)		
	【判断基準】 a) 虐待などの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている。 b) - c) 虐待などの早期発見に努めているが、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっていない。 d) 虐待などの早期発見に努めていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「職員会議録」「ケースカンファレンス(市担当課が対象児の関係者を召集して行う会議)記録」「和光市児童虐待防止ネットワーク実務者会議資料」を確認。着脱時の視診、保育中の観察(子どもの言動、清潔・栄養状態)から発見に努め、疑いを察知した場合には状態の程度にかかわらず園長に報告する体制となっていること、必要に応じて職員会議にて職員に周知していることをヒアリングにて確認。	

大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
評価項目	- 1 - (8) 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。 (29)		
	【判断基準】 a) 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所など関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。 b) - c) - d) 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所など関係機関に照会、通告を行う体制が整っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「ケースカンファレンス記録」「和光市児童虐待防止ネットワーク実務者会議資料」を確認。必要時には児童相談所・県保健所・市担当課などと連携しながら対応していることをヒアリングにて確認。	

項目別所見			
大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
施設名	記載内容		
にいくら保育園	日常の健康管理、感染症・アレルギーへの対応、災害・事故発生時の対応、事故防止への取り組み、虐待への対応、それぞれにおいて概ね適切に実施されていることが確認されました。しかし、マニュアル・手順に関する職員間の共有などについて、改善が望ましい、または改善を要する点がいくつか見受けられましたので、必要な点については早急の改善を図って下さい。		

大項目名	運営管理	中項目名	- 2 情報提供・保護者とのコミュニケーション
評価項目	- 2 - (1) 情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている。(48)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 園だより、クラスだより等を配布している。</p> <p>イ 園の掲示等による保護者への情報提供について、わかりやすく伝える工夫がみられる。</p> <p>ウ パンフレットや要覧等を園児の保護者以外にも配布している。</p> <p>エ 園外向けの掲示板やポスター等で、園の様子や行事などについて、地域の人に見てもらえるようにしている。</p> <p>オ ホームページや情報誌など誰もが容易に入手できる形態の広報媒体がある。</p> <p>カ 園の運営状況等についての情報を求めに応じて公開できるようにしている。</p> <p>【総合判断基準】</p> <p>a. 情報提供をよく行っている。 b. 情報提供を概ねよく行っている。 c. 情報提供をあまりよく行っていない。 d. 情報提供を行っていない。</p> <p>(判断のめやす)</p> <p>a.....不適合1点以下 b.....不適合2点 c.....不適合3～4点 d.....不適合5点以上</p> <p>《備考》</p> <p>「わかりやすく」: 伝達すべき情報が正確かつスムーズに(見づらい・読みづらいなどの負担を強いることなしに)伝わる(と判断できる)程度に。</p>		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	<p>「園だより」「クラスだより」「パンフレット」「運動会のお知らせ」を確認し、視察とヒアリングにて実施状況を確認。「園だより」「クラスだより」は月1回のほか、必要に応じて臨時号を発行し、保護者に配布している。パンフレット等は園開放や見学の際に来園者に配布しており、行事の際には園近辺や小学校・関係機関にもポスターを掲示している。園内の連絡掲示については保護者の出入り口が一つではないため、各教室の出入り口にも掲示している。また保育風景や行事の様子をビデオに撮影し、懇談会時の上映や保護者への貸し出しを行っているほか、園独自のホームページを開設し、行事などのお知らせをタイムリーに行っていきたいとのこと。</p>	

大項目名	運営管理	中項目名	- 2 情報提供・保護者とのコミュニケーション
評価項目	- 2 - (2) 一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。（ 25 ）		
	【判断基準】 a) 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換に加えて、別の機会を設けて相談に応じたり個別面談などを行ったりしている。 b) - c) 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換を行っているが、相談や個別面談には応じていない。 d) 一人一人の保護者と、子どもについて情報交換を行っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「連絡帳」「懇談会・懇親会・個別面談記録」「行事予定表」を確認し、ヒアリングにて実施状況を聞き取り。連絡帳には園児の様子が詳細に記録され、保護者に伝えられている。年2回の懇談会、年1回の個別面談のほか、要望があれば随時担任・園長などが個別面談に応じている。	

大項目名	運営管理	中項目名	- 2 情報提供・保護者とのコミュニケーション
評価項目	- 2 - (3) 日々の給食の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている。(10)		
	【判断基準】 a) 日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じ、子どもの喫食状況を知らせている。 b) - c) 日々の献立を保護者に示しているが、喫食状況は知らせていない。 d) 日々の献立を保護者に示していない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「献立表」「連絡帳」「給食試食会記録」「残食調査記録」「給食会議録」を確認。保護者には連絡帳で喫食状況を伝えており、残食調査を実施し、給食会議での報告や献立への反映も行っていることをヒアリングにて確認。	

大項目名	運営管理	中項目名	- 2 情報提供・保護者とのコミュニケーション
評価項目	- 2 - (4) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録され、関係職員に周知されている。(26)		
	【判断基準】 a) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録され、関係職員に共有されている。 b) - c) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されているが、関係職員に共有されていない。 d) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「職員会議録」「保育士会議録」「業務日誌」「児童票」「懇談会・懇親会・個別面談記録」を確認。毎日の連絡事項は朝会での口頭連絡と業務日誌（職員全員が目を通す）にて周知。懇談会と個別面談会については開催のつど報告書にまとめ、必要なことは職員会議（月1回）、保育士会議（正規のみ・全体、各月1回）、緊急のものは朝会と業務日誌にて職員に周知している。また各園児については児童票と個別ファイルに担任が記録している。	

大項目名	運営管理	中項目名	- 2 情報提供・保護者とのコミュニケーション
評価項目	- 2 - (5) 保育の実施に当たり、保護者から意見を聞くための取り組みを行い、その意向に配慮している。(49)		
	【判断基準】 a) 日常的に保護者と接する場面で意見を聞く以外に、懇談会や保育への参加の機会を設けるなど、保護者の意見を聞くための取り組みを行うとともに、その意向に配慮している。 b) 日常的に保護者と接する場面で意見を聞く以外に、懇談会や保育への参加の機会を設けるなど、保護者の意見を聞くための取り組みを行っている。 c) - d) 日常的に保護者と接する場面で意見を聞く以外には、保護者の意見を聞くための取り組みを行っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「年間行事予定」「懇談会・懇親会・個別面談記録」「『みんなで楽しもう』企画ファイル」「0・1歳児合同勉強会・懇談会報告」を確認。懇談会・面談会のほか、保護者・園児共同参加の行事（「みんなで楽しもう」各行事）や合同勉強会（0・1歳児対象・今後は他の年齢についても検討）の実施に加え、保護者会の役員会に園長が参加し、意見を聞くなど、積極的に保護者とのコミュニケーションを図っている。	

大項目名	運営管理	中項目名	- 2 情報提供・保護者とのコミュニケーション
評価項目	- 2 - (6) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。(27)		
	【判断基準】 a) 懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者の保育参加など、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。 b) - c) 懇談会などの話し合いの場を設けているが、保護者と共通理解を得るための機会を設けていない。 d) 懇談会などの話し合いの場を設けていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「年間行事計画」「0・1歳児合同勉強会・懇談会報告」「『みんなで楽しもう』企画ファイル」を確認。懇談会・面談会のほか、「みんなで楽しもう」企画として年齢に応じた保護者・園児共同参加の行事を設け（年2回の「親子クッキング」「おりがみ教室」、年3回の「ミニミニコンサート」）、さらに保護者・保育士の合同勉強会（0・1歳児対象・今後は他の年齢についても検討）も実施し、それらを通じて、子育てや発達援助などについての共通理解の醸成を図っている。	

項目別所見			
大項目名	運営管理	中項目名	- 2 情報提供・保護者とのコミュニケーション
施設名	記載内容		
にいくら保育園	保護者・地域への情報提供、保護者とのコミュニケーション、職員間の情報共有について、それぞれに取り組みがなされ、目的達成が図られていることが確認されました。特に保護者・園児共同参加行事の積極的な開催（これまでは園主導で企画してきたが、今後は保護者の要望をより取り入れながら企画・実施していきたいとのこと）、保護者・保育士の合同勉強会の実施など、保護者とのコミュニケーションのための取り組みについては、御園ならではの特色として、今後もより一層の充実をめざされることを期待します。		

大項目名	運営管理	中項目名	- 3 人材育成
評価項目	- 3 - (1) 職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。(46)		
	【判断基準】 a) 職員の資質向上に向けた目標に基づき、各職員についてどのような技術・技能を修得する必要があるかを把握し、適切な研修機会の確保を行っている。 b) 職員の研修機会は確保しているが、職員の資質向上に向けた目標に基づき、各職員についてどのような技術・技能を修得する必要があるかを把握していない。 c) - d) 職員の研修機会を確保していない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	b	「研修計画」「研修報告」を確認。講師を招いての園内研修、園外研修や他園見学への派遣のほか、市の自主研究会（市内保育所合同研修）には出席可能な職員全員が参加しており、研修の結果は研修報告の回覧によって周知を図っている。（推奨事項参照）	
推奨事項 / 指摘事項		- 3 - (1) 職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	b	推奨	講師を招いての園内研修、職員の外部研修派遣などの取り組みが確認されましたが、より効果的な職員の資質向上を図るため、向上・習得が必要な資質・技能を各職員において特定し、個人別目標の設定を行うなど、目標管理のシステムの確立をご検討なさってみてはいかがでしょうか。これまでは若い保育士が多く、それに見合った研修計画としてきたが、最近ようやく保育士間で共通理解が保たれ始めたと感じているとのことですので、時期的にも目標管理システム採用の好機かと思われます。ご検討をおすすめします。

【施設記入】改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 3 - (1) 職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。					
<p>推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)</p>		<p>推奨事項</p> <p>沢山の課題に対し、意識的に関わりより良い保育を実践していくために積極的に研修への参加と、保育への取り組みを行っていきます。目標管理システムを十分に理解する努力をしながら、職員一人一人の資質向上とにいくら保育園にとって、今何を学ぶべきかを考えていきます。</p>				

完了予定日 (または完了日)	16年 4月より
-------------------	----------

大項目名	運営管理	中項目名	4 守秘義務
評価項目	- 4 - (1) 守秘義務の遵守を周知している。(47)		
	【判断基準】 a) 保育にあたり知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持に関する規程が定められ、遵守すべき事項を周知の上、実施されている。 b) 保育にあたり知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持に関する規程は定められていないが、遵守すべき事項が周知され、実施されている。 c) 保育にあたり知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持について、遵守すべき事項が周知されているが、実施されていない。 d) 保育にあたり知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持について、職員に周知していない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	C	「児童票」は事務室。「連絡網」は保護者会のみ（園の保管なし）保護者の緊急連絡表は作成され、事務室奥の棚に立てかけてあることを確認。守秘義務に関しては就業規程に記載。ただ、守秘義務の取り扱いに関して一部配慮に欠ける部分が見られた。（指摘事項参照）	
推奨事項 / 指摘事項		- 4 - (1) 守秘義務の遵守を周知している。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	C	指摘	0・1・2・3歳児にはタペストリーが設置してあり、0・1・2歳児は名札（住所・電話番号等が記載）が各園児のポケットにつけてありました。タペストリーの中には連絡帳が入れられ、保護者がお迎え時にとるようになっていきますので、園児の個人情報漏洩する危険性があります。また、事務室奥に立てかけてある緊急連絡表に関しても、外部から見えないような配慮が必要です。また、児童票の持ち帰りが、育成保育対策児にみられましたが、原則として個人の情報が書かれたものの持ち出しは禁止されています。今後、個人情報の管理に関しては十分配慮をして下さい。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 4 - (1) 守秘義務の遵守を周知している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	指摘事項 クラス会議・保育士会議などで0～3歳児クラスで使用しているタペストリーの取り扱いに関し、新年度の使用方法などを再考し、限られたスペースの中で混乱無く伝わりやすく、プライバシーが守られる方法を考えていきたい。名札の取り扱いも再考します。個人の情報管理は最善の配慮を改めて確認し検討を行います。全体職員会議にて改めて全職員に確認いたします。					

**完了予定日
(または完了日)**

16年 3月31日

項 目 別 所 見			
大項目名	運営管理	中項目名	- 3 人材育成 / 4 守秘義務
施設名	記 載 内 容		
にいくら保育園	<p>人材育成については、一定の研修機会が確保され、取り組みがなされています。今後は職員各人の資質に基づいた目標管理制度を導入し、それに沿った研修体制の整備をなされることをおすすめします。</p>		

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 1 多様な子育てニーズへの対応
評価項目	- 1 - (1) 多様な子育てニーズを把握するための取り組みを行い、それを事業に反映している。(30)		
	【判断基準】 a) 多様な子育てニーズの把握と、それに対応した計画策定と実施、関連機関との連携、職員の資質向上のための教育が適切に行われている。 b) 多様な子育てニーズを把握するための取り組みを行い、それを事業に反映させている。 c) 多様な子育てニーズを把握するための取り組みは行っているが、それを事業に反映させていない。 d) 多様な子育てニーズを把握するための取り組みを行っていない。 (取り組みの結果把握したニーズが現行のサービスの範囲内にとどまっている場合は、挙証材料による事実確認ができれば a としてよい)		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「和光市すこやかプラン」パンフレット、「和光市保護者アンケート」、「研修計画」「研修報告」を確認。和光市の子育て支援計画に基づいた支援事業に、保護者連合会からの要望なども加味して実施している。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 1 多様な子育てニーズへの対応
評価項目	- 1 - (2) 育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている。(31)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 電話やファクスなどによる子育て相談を行っている。</p> <p>イ 来園による子育て相談を行っている。</p> <p>ウ 育児情報の提供を行っている。</p> <p>エ 地域の子育て家庭の親子が定期的集まる機会を設けている。</p> <p>オ 地域の子育て家庭の親子と園に通っている親子が交流する機会を設けている。</p> <p>カ 地域の母子保健活動と連携した取り組みを行っている。</p> <p>【総合判断基準】</p> <p>a.よい取り組みが行われている。 b.概ね取り組みが行われている。 c.取り組みが不十分である。 d.取り組みが行われていない。</p> <p>(判断のめやす)</p> <p>a.....不適合1点以内 b.....2点不適合 c.....3～4点不適合 d.....不適合5点以上</p> <p>(地域性により、上記取り組みの実施事例に乏しい場合は、取り組みのための体制が整っていることの実事確認ができれば、実施されていると判断してよい。また、上記取り組みのうち実施の必要がない、もしくは困難であると判断できるものは、基準から除外し、不適合にカウントしない)</p>		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「年間事業計画」「パンフレット」「市広報」「給食のレシピ集」「運動会のお知らせ」を確認。育児相談は園開放(年30回)や和光市ホームページにて告知し、随時受け付けている。また給食レシピ集の配布や関係機関との連携のほか、関係機関を保護者に紹介するなどしている。なお、現在は市の意向で実施していないが、今後はミニ子育て支援センター事業も行っていきたいとのこと。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 1 多様な子育てニーズへの対応
評価項目	- 1 - (3) 一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。(32)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 一時保育のための保育室などの確保に配慮している。</p> <p>イ 一時保育のための担当者が決められている。</p> <p>ウ 一人一人の子どもの日々の状態を把握している。</p> <p>エ 保護者とのコミュニケーションを十分にとっている。</p> <p>オ 一時保育の子どもと通常保育の子どもとの交流に配慮している。</p> <p>【総合判断基準】a.一時保育の内容や方法によく配慮している。 b.一時保育の内容や方法に概ね配慮している。 c.一時保育の内容や方法に対する配慮が不十分である。 d.一時保育の内容や方法に配慮していない。</p> <p>(判断のめやす) a.....不適合なし b.....ア～エ適合、オのみ不適合 c.....ウが不適合 d.....ア・イが不適合</p> <p>一時保育を実施していない施設は本項目の評価を行わず、その旨付記する。</p>		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「一時保育利用持ち物一覧」「一時保育利用申し込み書」を確認。ヒアリングにて園に慣れるまで係長がお世話をし、徐々にクラスに慣らしていくこと、現在利用している1歳児K・Mに関して連絡帳を記入していることをヒアリングにて確認。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 2 地域住民や関係機関・団体との連携
評価項目	- 2 - (1) 保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。(33)		
	【判断基準】 a) 地域の関係機関についての情報を収集し、それを職員が共有している。 b) - c) 地域の関係機関についての情報を収集しているが、それを職員が共有していない。 d) 地域の関係機関についての情報を収集していない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	b	「ケースカンファレンス記録」「和光市児童虐待防止ネットワーク実務者会議資料」「他園の視察の記録」「職員会議録」「業務日誌」「市からの事務連絡」綴りを確認。関係機関からの情報は文書や電話にて随時収集され、必要なものは職員が自由に閲覧できるほか、重要な情報については業務日誌や朝会時の口頭連絡にて周知しているとのこと。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 2 - (1) 保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。	
施設名	評価	種別	記載内容
にいくら保育園	b	推奨	ヒアリングにて、関係機関からの情報について、重要な情報については業務日誌や朝会時の口頭連絡にて周知しているとの説明を受けましたが、事例が少ないためか、そうした記録が確認できませんでした。また、自己評価には「園長のみでの理解に留まり、職員への周知するための情報収集や、共有努力がされていない」との記述がありました。以上について早急に体制を整え、改善なされることをおすすめします。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	16年 3月26日	施設名	にいくら保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	佐藤 範子	役職：園長
評価項目	- 2 - (1) 保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	推奨事項 関係機関に関する情報収集したものである職員への伝達は、園内研修にて実施し周知を図る。					

**完了予定日
(または完了日)**

16年 6月

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 2 地域住民や関係機関・団体との連携
評価項目	- 2 - (2) 子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。(34)		
	【判断基準】 a) 子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。 b) - c) - d) 医療機関などに相談や連携ができる体制になっていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「事故報告書」を確認。ヒアリングにて、嘱託医には随時相談・診察依頼が可能であり、嘱託医以外にも近隣の医療機関に対応を依頼できること、通常は看護師と園長が状況を確認し、嘱託医に連絡していることを確認。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 2 地域住民や関係機関・団体との連携
評価項目	- 2 - (3) 育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。(35)		
	【判断基準】 a) 育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。 b) - c) - d) 児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「ケースカンファレンス記録」「和光市児童虐待防止ネットワーク実務者会議資料」「和光市育成保育入園検討会資料」「児童票」を確認。ヒアリングにて、虐待や育成保育について、市担当課・児童相談所・家庭児童相談室・県保健所と連携をとっており（事例あり）同一法人内の障害児施設との協力も可能であることを確認。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 2 地域住民や関係機関・団体との連携
評価項目	- 2 - (4) 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。(36)		
	<p>【判断基準】</p> <p>a) 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。</p> <p>b) 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会、もしくは職員間の話し合い、研修などの連携の機会を設けている。</p> <p>c) -</p> <p>d) 小学校との間での小学生と園児の交流または職員間の連携について、機会を設けていない。</p> <p>(地域や自治体の事情等により、小学校との交流・連携が困難である場合は、評価を行わず、特記欄にその旨付記すること)</p>		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「保育問題研究会」資料、「小学校の先生との交流会報告書」を確認。「保育問題研究会（地域の保育所職員による内部勉強会）」において小学校の先生との交流を行っており、それに際しては事前に保護者から質問を収集しているとのこと。その他、運動会の会場として近隣の小学校のグラウンドを借りているほか、園児の小学校訪問の実施、夏祭り・運動会に近隣の小学生が参加するなどの交流が行われている。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 2 地域住民や関係機関・団体との連携
評価項目	- 2 - (5) 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている。(37)		
	【判断基準】 a) 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている。 b) - c) - d) 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	ヒアリングにて、苦情処理第三者委員として市の民生・児童委員が協力していることを確認。近隣に町内会・自治会・老人会がないため、連携した取り組みは特に行っていないとのこと。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 2 地域住民や関係機関・団体との連携
評価項目	- 2 - (6) 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。(38)		
	【判断基準】 a) 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。 b) - c) - d) 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「地域への各種お知らせ(年末御礼・変質者注意)」「『お泊まり保育』協力依頼書」「『にいくら祭り』協力依頼書」を確認。開園時(運営受託時)より、直接の挨拶回りと文書による連絡で、随時近隣とのコミュニケーションを図っていること、行事への参加呼びかけ・協力依頼、餅つき大会でできた餅を配るなどの取り組みを行っていることをヒアリングにて確認。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 2 地域住民や関係機関・団体との連携
評価項目	- 2 - (7) 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。(39)		
	<p>【判断基準】</p> <p>a) 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。</p> <p>b) 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、受け入れの担当者が決められていない。</p> <p>c) -</p> <p>d) 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。</p> <p>(地域の事情などから保育体験受け入れの必要や事例がない場合は、評価を行わず、特記欄にその旨付記すること)</p>		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「職員会議録」「保育士会議録」「ボランティア受け入れ資料」を確認。大妻嵐山中学校や和光国際高等学校、朝霞高等学校など積極的に体験学習などの受け入れをしていることを確認した。ヒアリングにて担当者が確定していることや目的や意義が口頭で確実に伝えられていることも確認した。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 3 実習・ボランティア
評価項目	- 3 - (1) 実習生を受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている。(40)		
	【判断基準】 a) 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている。 b) 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、実習担当者が決められていない。 c) - d) 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「職員会議録」「保育士会議録」「実習予定表」「実習依頼文書」を確認。現時点で実習生5名の受け入れを行っていることを確認。ヒアリングにて、実習予定や内容については事務所の掲示板に貼り出して周知するほか、実習受け入れクラス担当者には、実習目的や方針等について口頭で伝達していることを確認した。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 3 実習・ボランティア
評価項目	- 3 - (2) ボランティアを受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。(41)		
	【判断基準】 a) ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。 b) ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、受け入れの担当者が決められていない。 c) - d) ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。 (地域の事情などからボランティア受け入れの必要や事例がない場合は、評価を行わず、特記欄にその旨付記すること)		
施設名	評価	判断根拠	
にいくら保育園	a	「職員会議録」「保育士会議録」「ボランティア受け入れ資料」を確認し、学生ボランティアの受け入れ状況を確認。ヒアリングにて、その他に職員もボランティアとして参加する「おりがみ教室」「親子クッキング」「ミニミニコンサート」があり、職員の特技を生かしたボランティア活動が盛んであることを確認。担当者も決まっており、意義方針については、口頭伝達されていることを確認した。	

項 目 別 所 見			
大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 1 多様な子育てニーズへの対応 / - 2 地域住民や関係機関・団体との連携 / - 3 実習・ボランティア
施設名	記 載 内 容		
にいくら保育園	「地域に開かれた保育園をめざしたい」との園長先生のお言葉のとおり、積極的に近隣とのコミュニケーションを図っており、関係機関との連携とあわせ、取り組みが図られていることが確認されました。		

「特記すべき本園の特長」

【にいくら保育園】

特記すべき 本園の特長

- ・緑に囲まれた静かな環境に恵まれており、子どもたちがのびのびと過ごし、心身を豊かに成長させるステージが用意されています。
- ・園児と保護者が一緒に参加できるイベントを積極的に開催し、保育士と保護者の野球チームを結成するなど、子どもと保護者と保育士がともに楽しめる機会を演出しています。
- ・子どもにとって過ごしやすい環境をめざし、環境設定、人材育成など、一つ一つ課題を設けて、着実に取り組んでいます。
- ・地域に開かれた保育園をめざし、園開放や近隣とのコミュニケーション、子育て支援を意欲的に行っています。